

地域学校協働活動 モデル校検証結果 (報告書)

令和5年3月

那覇市教育委員会 生涯学習課 青少年育成室

目 次

1	はじめに	1
2	検証目的	1
3	モデル校の選定	2
4	取組み内容	2
5	協働活動の実績	3
	(1) 協働活動数	
	(2) 地域ボランティア数 (延べ数)	
	(3) 児童数 (延べ数)	
6	地域学校協働活動 振り返りアンケート R5.3 月実施	5
7	モデル校での成果と課題	7
8	今後の展開	8

資料

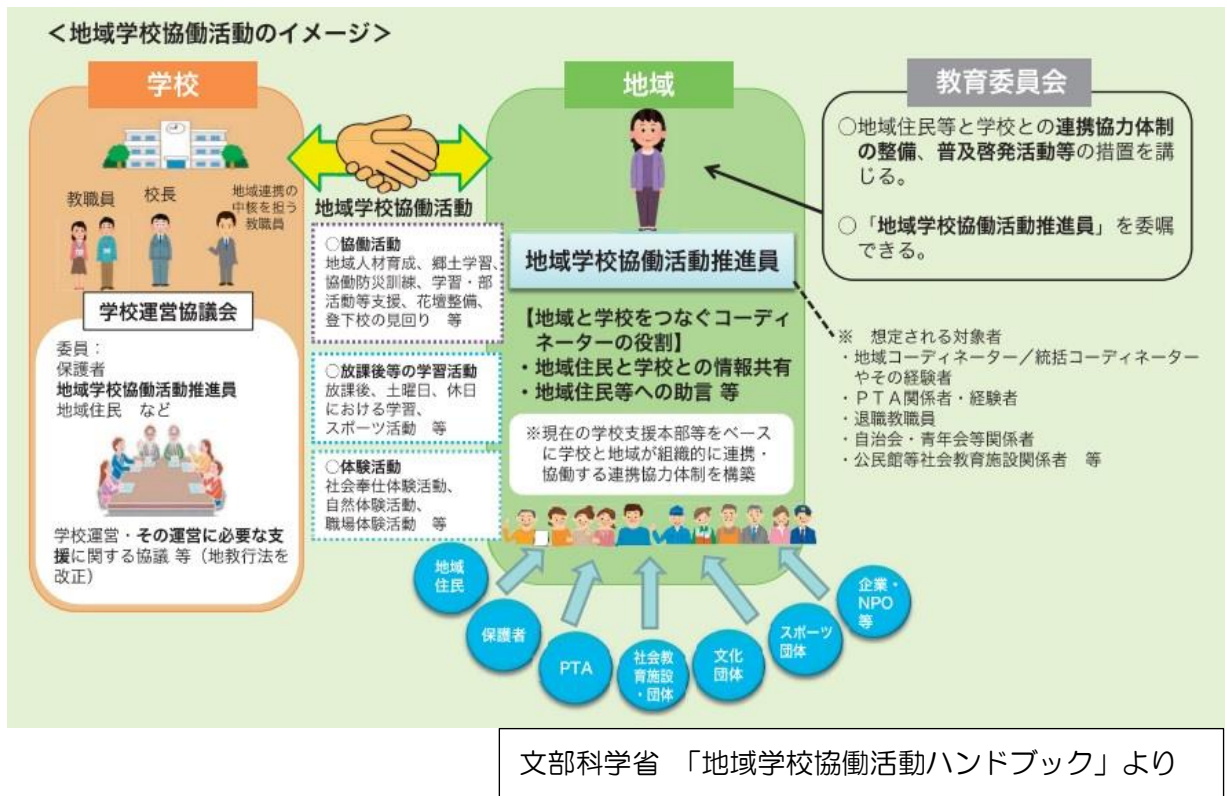
別紙1	ボランティア依頼書	9
別紙2	打合せチェックリスト	10
別紙3	ボランティア アンケート	11
別紙4	教師 アンケート	12
別紙5	大名小 教員 アンケート集計結果 (R5.3 月実施)	13
別紙6	大名小 地域ボランティア アンケート集計結果 (R5.3 月実施)	18

地域学校協働活動 モデル校検証結果 報告書

1 はじめに

地域学校協働活動とは、地域と学校が連携・協働して地域全体で子ども達を守り、育てるための様々な活動のことを総称したものである。学校が抱える課題は複雑化・多様化し、地域総掛かりによる教育の実現が求められており、文部科学省では、本活動の推進を施策に掲げている。

本市では、国の方向性を踏まえ、地域と学校が連携・協働して行えるよう体制づくりを支援するため、地域と学校をつなぐ地域学校協働活動推進員（以下、「推進員」という。）を配置し、市内全小・中学校区での協働活動の実現に向けて取り組んでいきたいと考えている。



2 検証目的

本市における協働活動の成果や課題を整理するため、小学校1校をモデル校として選定し、検証を行う。

3 モデル校の選定

モデル校については、平成30年度に実施した「学校に関わっている地域住民等に関するアンケート」に基づき学校ヒアリング等を経て、複数の候補校を選定し、その中から、地域や学校の状況に精通し地域活動に尽力している人材の有無等を鑑み、以下の小学校をモデル校として選定した。

モデル校：那覇市立 大名小学校

＜児童数＞約180名（各学年1クラス）

＜教育目標＞夢を育み 未来を拓き たくましく生きる児童の育成

4 取組み内容

＜推進員の配置＞

学校長より推薦してもらい、令和元年12月から、大名小学校に推進員1名を配置し、学校支援を中心に協働活動を実施した。

当該推進員は、「大名小学校PTA」の事務や地域課題の解決を目的として設立された「大名小学校区まちづくり協議会」の副会長を兼任しながら、地域と学校の調整役として、主に以下の4つの業務を行ってもらった。

(1) 学校や地域の状況等を把握し協働活動の企画立案

活動内容や目的、日時や必要な人員等について、学校や地域（依頼者）から別紙1「ボランティア依頼書」にまとめてもらい、企画を立案。

(2) 地域ボランティアの確保

学校支援の内容を整理し、保護者を中心としたボランティアの募集や推進員独自の人脈を活用して、各活動に必要な人員を確保。

(3) 協働活動の実施に向けた調整

実施日の最終調整や当日必要な道具、写真撮影や学校広報誌等への掲載許可等について、別紙2「打合せチェックリスト」に沿って調整。

(4) 各協働活動の振り返り（アンケート）

各活動終了後に、学校とボランティアに別紙3「ボランティア アンケート」別紙4「教師アンケート」を配布・提出してもらい、良かった点や困った点等について確認し、次回の活動につなげている。

5 協働活動の実績

(1) 協働活動数

協働活動の区分を以下の5つに分類し実施した。

地域のボランティアによる学習支援や校内の環境整備、地域課題について学ぶ機会を開催する等、地域住民等のノウハウを活用して様々な活動を行った。

- ① 学習支援（総合学習、キャリア教育、図画工作等の授業講師や引率）
- ② クラブ活動支援（クラブ活動の技術指導）
- ③ 環境整備（備品修繕、校内清掃等）
- ④ 行事支援（運動会やマラソン大会の立哨、賞状等の毛筆等）
- ⑤ 地域学習・地域活動（地域の史跡巡り、防犯ワークショップ）

協働活動数

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
学習支援	1	2	9	11
クラブ活動支援	0	16	11	7
環境整備	10	14	19	32
行事支援	2	3	3	3
地域学習・地域活動	0	0	0	3
合計	13	35	42	56

回

協働活動事例

学習支援 地域のボランティアが学校の授業で講師として活躍！

総合学習：キャリア教育 6年生

図画工作：絵画教室 特別支援学級



仕事の内容や心構え、夢の実現に向けて取組むことなどを話してもらい、仕事の楽しさややりがい等について学びました。



年7回の絵画教室を実施。人物画の書き方を楽しみながら学びました。有意義な取組みでしたが、異年齢のため時間割を合わせるが大変でした。

クラブ活動支援 地域のボランティアがクラブ活動で技能指導！

生け花クラブ



牛乳パック等のリサイクル花器を使い、気軽に生け花を学びました。花に関する和歌なども子ども達に紹介！

島くとうばクラブ



方言で自己紹介したり、ことわざや数の数え方を教わりました。家でも方言を使って、ひいおばあちゃんと会話をした！という子も。

学校の環境整備 地域のボランティアが校内の環境を快適に整備！

校内の草刈り作業



工具類や掃除用具は学校側が準備し、草刈り作業を地域の方々や保護者で行いました。

掲示板の取付



階段の踊り場に掲示板を取り付け。作業を地域の方々に行ってもらいました。

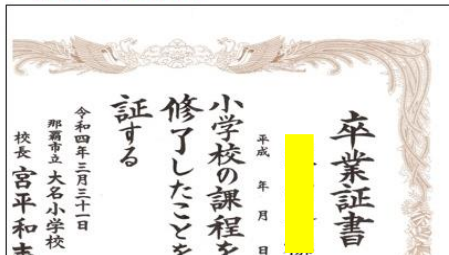
学校の行事支援 地域のボランティアが学校行事をお手伝い！

運動会（入場整理・体温測定）



安全安心に運動会を実施することができました。コロナ禍で、よりきめ細かな対応が求められました。

卒業証書の実筆



温かみのある実筆の卒業証書を渡すことができました。

**地域学習
地域活動**

地域住民と学校が地域への愛着を育み活性化へ！

地域の史跡巡り



地域のことを良く知ってもらうために、先生方を対象にした史跡巡りを実施。先生方からは、勉強になり、総合学習等に活かすことができる等の声があり、有意義な活動となりました。

防犯ワークショップ



地域と学校が連携して、地域の危険な箇所等を確認しながら、防犯について学習しました。交流しながら学習することができ、とても有意義な活動となりました。

(2) 地域ボランティア数（延べ数）

推進員が、大名小学校区まちづくり協議会やPTA、自治会、企業等に呼びかけし、各協働活動の実行部隊として活動してもらった。継続して活動が行えるようボランティア登録してもらい人員の確保につなげている。

令和5年3月現在、大名小学校では、地域ボランティア登録数：約50名

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
36	122	141	139

人

(3) 児童数（延べ数）

協働活動の「学習支援」や「クラブ活動支援」において、地域ボランティアによる学習の提供を受けた児童数は以下のとおり。体験等により、学習に対する興味や関心が高まり、より深い学びにつながっている。

R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
2	233	426	556

人

6 地域学校協働活動 振り返りアンケート R5.3月実施

大名小学校教員や地域に対し、これまでの協働活動に関するアンケートを実施した。

教員：11名 地域：10名

<アンケート結果>

学校

子ども達の学習に対する興味や関心が高まり、地域への愛着、地域と学校の連携が深まり、教員の負担軽減にもつながったと高評価を得た。今後も地域人材を活用して協働活動の実施を望む声が非常に多かった。

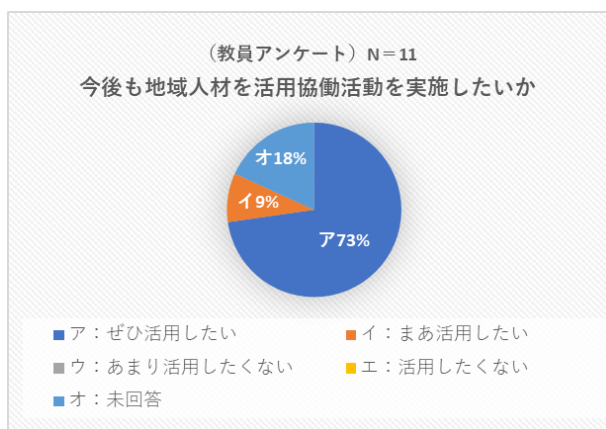
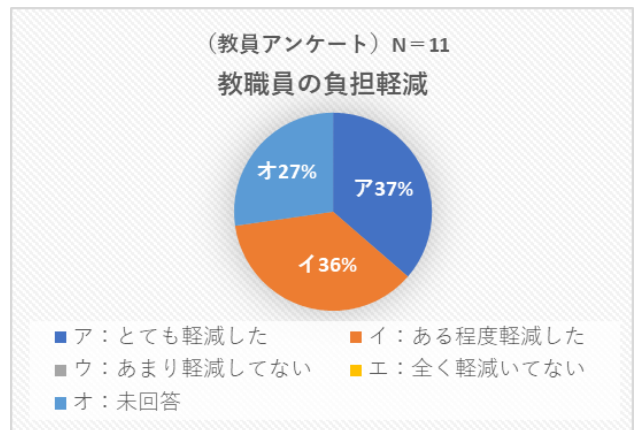
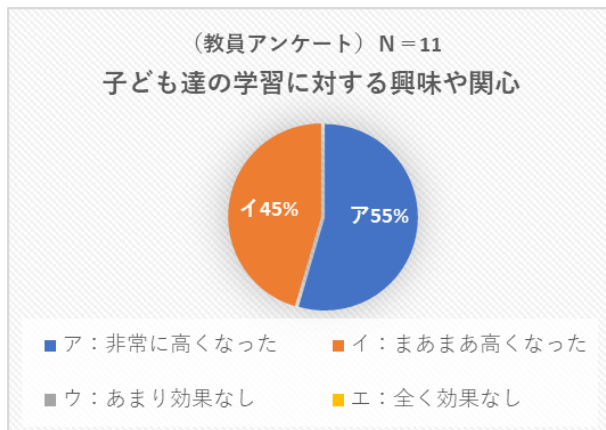
地域

子ども達との関わりが励みになった、地域に愛着を持ったとの声が多くあり、今後も協働活動に関わっていきたいとの意向を確認することができた。また、協働活動の継続が、地域の教育力の向上につながると考える者が多かった。

別紙5「大名小 教員 アンケート集計結果」

別紙6「大名小 地域ボランティア アンケート集計結果」

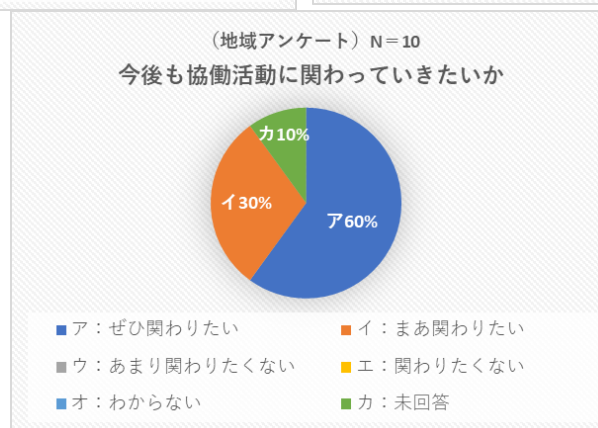
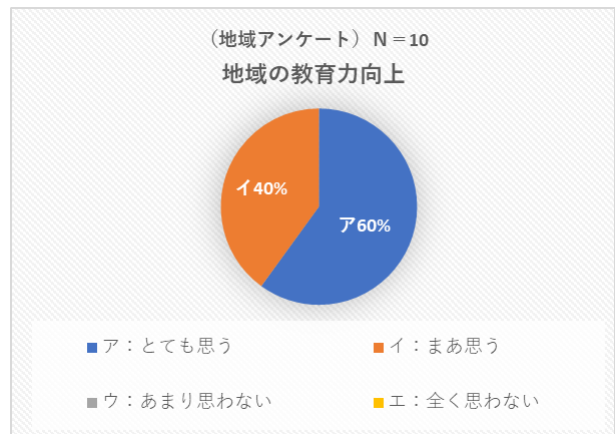
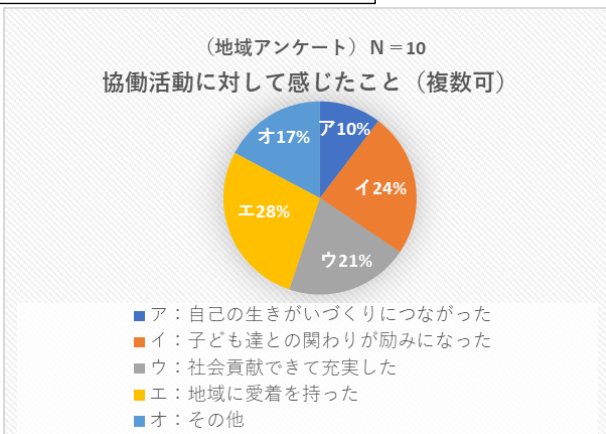
教員アンケート（抜粋）



【負担軽減の理由】

- 地域のボランティア講師がいろいろ準備をしてくれたので助かった。
- 推進員が打合せの交渉や人員の確保の交渉をしてくれて、負担軽減につながった。
- 地域人材資源を活用する時に、推進員が手配や紹介等をしてくれるので負担軽減につながった。

地域アンケート（抜粋）



7 モデル校での成果と課題

令和元年 12 月より大名小学校をモデル校として協働活動を実施してきたが、新型コロナウイルス感染症の影響で、十分な検証が出来ず、約3年間の検証期間を費やすことになったが、以下の「成果」と「課題」を整理することができた。

<成果>

今回の検証では、多様な協働活動を実施し、子ども達により深い学びを提供することができた。また、学校に推進員を配置することで、教員が地域人材を活用しやすい環境が整い、教員の負担を軽減することができた。

地域においては、子ども達との関わりが励みになり、地域に愛着を持ったとの声が多くあり、地域の教育力向上に期待できるものとなった。

大名小学校区には、「まちづくり協議会」があることで、ボランティアの確保がしやすく、活動を滞りなく行うことができた。地域にこういった団体が存在すると、協働活動の継続が容易となる。

<課題>

(1) 地域ボランティアの確保

大名小学校区には、まちづくり協議会があり、ほとんどの協働活動に対するボランティアの確保はできたが、専門的なスキルを必要とする講師ボランティアの確保には苦慮した。今後は、ボランティア同士の交流や広報誌の配布等といった協働活動への理解を深める取り組みも行いながら、企業との連携も強化していく必要がある。

(2) 地域ボランティアと保護者の役割分担

学校支援の協働活動では、地域ボランティアと保護者の役割分担に戸惑う部分があった。協働活動では、子ども達の成長を感じることができる場でもあるので、全てを地域任せにせず、保護者が主体となって行った方が良い活動（運動会等）もあるものとして、整理しておく必要がある。

(3) 学校・地域等の連携

協働活動の実施には、学校の理念や経営方針を共通認識した上で、学校と地域等が連携して進める必要があるが、教員に余裕がないため、打合せ等の時間確保が難しく、双方の連携に苦慮した。学校理念や経営方針等を共有できる場の確保や、いつでも教員が相談できる体制を整える必要がある。

8 今後の展開

大名小学校では、検証により挙げられた課題を解決しつつ、令和5年度以降も継続して推進員を配置し、協働活動を本格実施する。

大名小学校の検証により、学校運営の充実や教員の負担軽減につながる成果がでていることから、今後、市内の全小中学校で協働活動が実施できるよう推進していくこととする。

協働活動の実施は、学校と地域が学校理念を共有しながら進めていくことが重要なため、地域と学校が話し合える場を確保する必要がある。

文部科学省では、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組む学校運営協議会制度の導入を促進しており、本制度の導入が、地域と学校の話合いの場につながるものと考えられる。本市においては、まだ、本制度の導入がない状況ではあるが、今後、学校運営協議会の設置に向けて検討をしていることから、協働活動の全小中学校への拡充は、本制度の導入と歩調を合わせて展開していきたい。

学校支援ボランティア 打合せチェックリスト

別紙2

打合せ日	令和 年 月 日
場 所	
学 年	
支援名	

チェック欄	チェック項目
	ボランティアさんに、目的（ねらい）を理解してもらえましたか？
	対象学年、人数を確認しましたか？
	授業の流れ（時間配分など）は確認しましたか？
	ボランティアさんの役割は確認しましたか？
	児童および先生の役割を確認しましたか？
	ボランティアの日付・回数・場所は確認しましたか？
	集合時間と集合場所は確認しましたか？
	移動手段と駐車スペースは確認しましたか？
する・しない	給食を準備しますか？（1週間前までに報告） 準備する場合⇒食べる場所、準備する人について確認して下さい。
	担当教諭から給食主任へ「日付」と「人数」を報告するよう伝えて下さい。
	準備する資料などはありますか？ ある場合⇒準備する人、準備する物を確認して下さい。
	急な予定変更（雨天など）があった場合の対応方法は確認しましたか？
要・不要	再打合せが必要ですか？ ある場合⇒日時を確認して下さい。
	ボランティアの心得は確認しましたか？
可・不可	ボランティアさんの写真撮影・掲載（学校広報誌等を含む）は可能ですか？
済・未	ボランティア保険の加入手続きは済んでいますか？ まだの場合⇒住所・生年月日を確認して下さい。

令和 年 年 日

那覇市地域学校協働活動推進事業・ボランティア アンケート

今後の協働活動の参考にさせていただくために、アンケート記入へのご協力をお願い致します。

氏名 _____

1. 今回のボランティア活動について

『 _____ 』

・よかったと思うこと

・困ったと思うこと（なんでも結構ですので、遠慮なくご記入ください）

2. 今後のボランティア活動やコーディネート等について、提案や課題等がありましたらご記入願います。

☆ご協力ありがとうございました☆

大名小学校 地域コーディネーター
担 当 ◎◎ ◎◎
T E L : 917-3328 F A X : 917-3368

令和 年 年 日

那覇市地域学校協働活動推進事業・教師アンケート

今後の協働活動の参考にさせていただくために、アンケート記入へのご協力をお願い致します。

氏名 _____ 先生

1. ボランティアが関わった授業等について

『 _____ 』

・よかったと思うこと

・困ったと思うこと（なんでも結構ですので、遠慮なくご記入ください）

2. 今後も地域のボランティア資源を活用していきたいですか。（1つを選択）

- ①ぜひ活用したい ②活用したい ③どちらでもない
④活用したくない ⑤わからない

3. 今後のボランティア活用やコーディネート等について、提案や課題等がありましたらご記入願います。

☆ご協力ありがとうございました☆

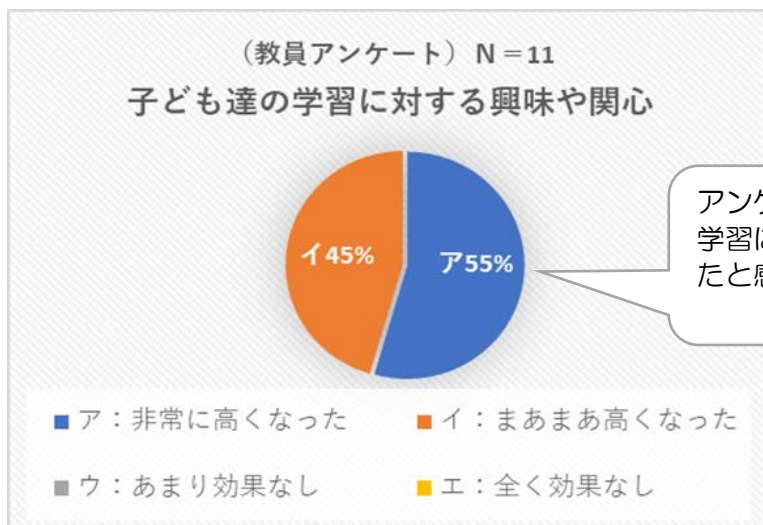
大名小学校 地域コーディネーター
担 当 ◎◎ ◎◎
T E L : 917-3328 F A X : 917-3368

大名小 教員 アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

別紙5

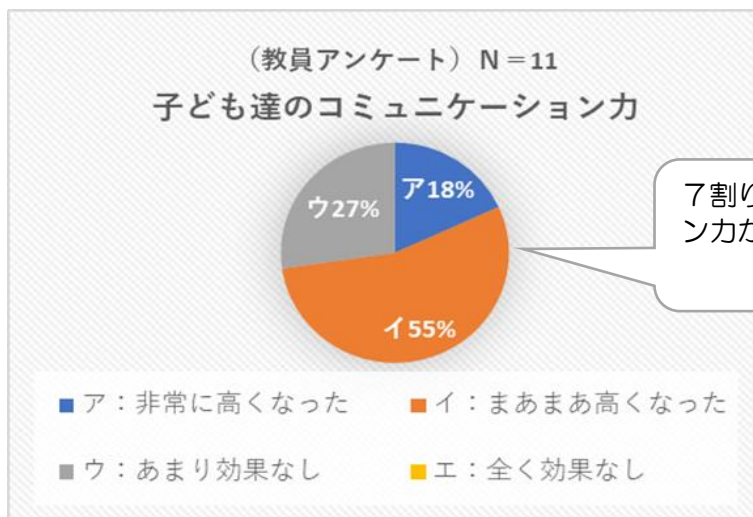
1 協働活動の効果

①



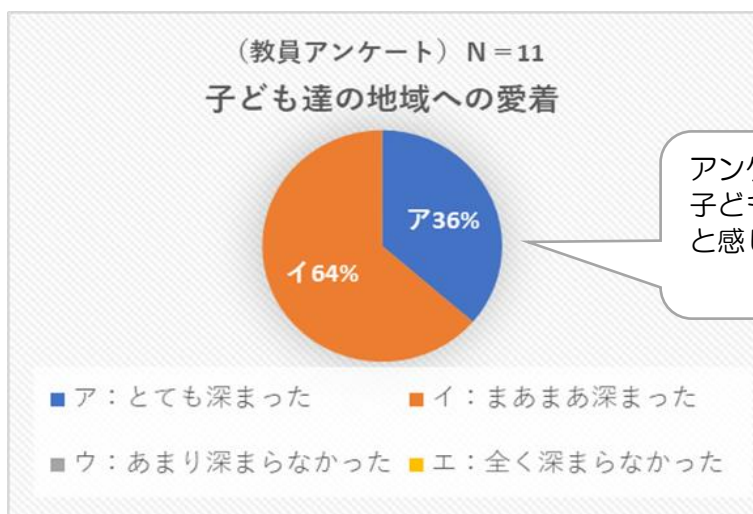
アンケートに回答した教員全員が、学習に対する興味や関心が高まったと感じている。

②



7割りの教員は、コミュニケーション力が高まったと感じている。

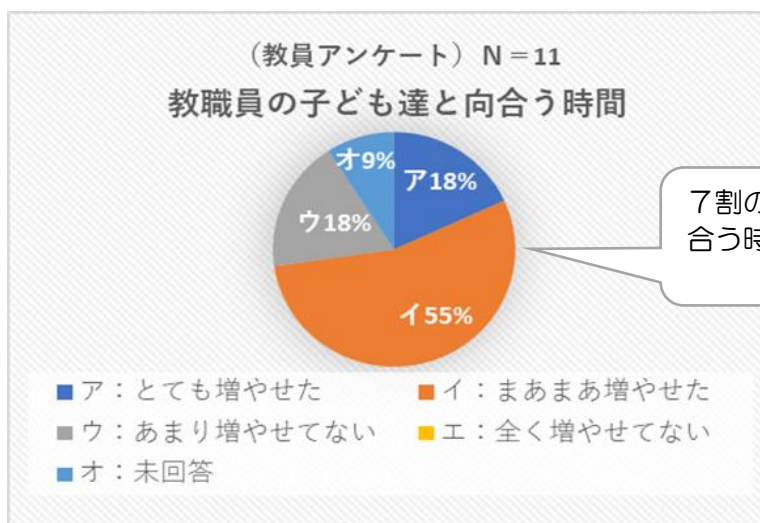
③



アンケートに回答した教員全員が、子ども達の地域への愛着が深まったと感じている。

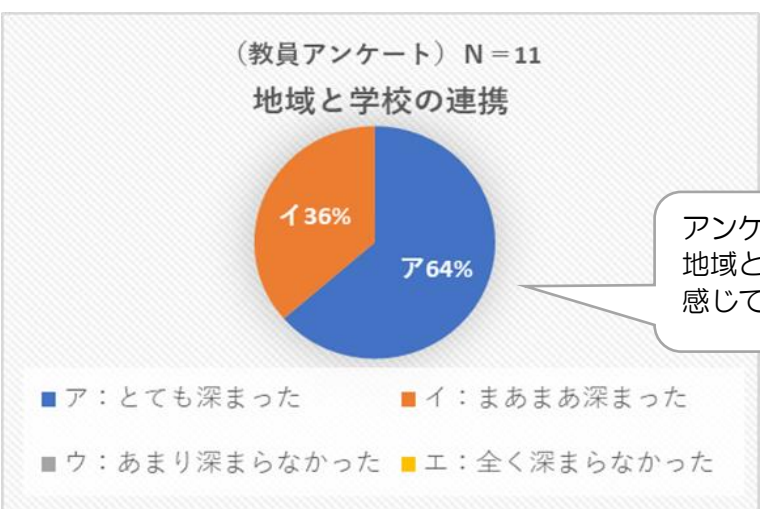
大名小 教員 アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

④



7割の教員は、子ども達との向き合う時間が増やせたと感じている。

⑤



アンケートに回答した教員全員が、地域と学校との連携が深まったと感じている。

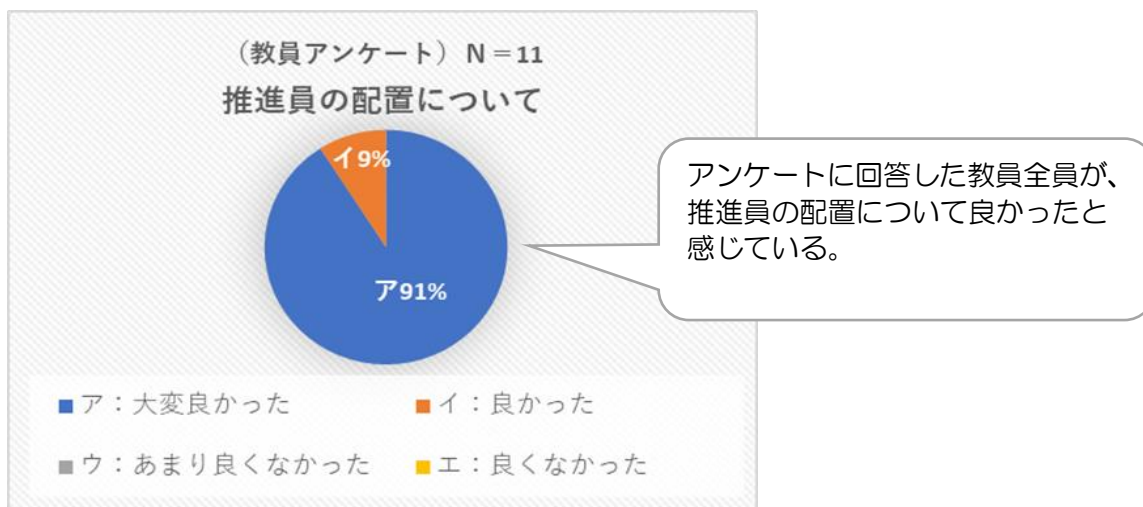
⑥

【その他の効果】

- 専門的な知識を得られ楽しく学習できた。児童からも「またやってみたい」と感想があった。
- キャリア教育の点からも、子ども達は、職や自分の可能性に気づくよい機会となった。
- 友達動同士で協力し色々な事を調べる事は、大きな意義があり、自らの学びの意欲につながる。

大名小 教員 アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

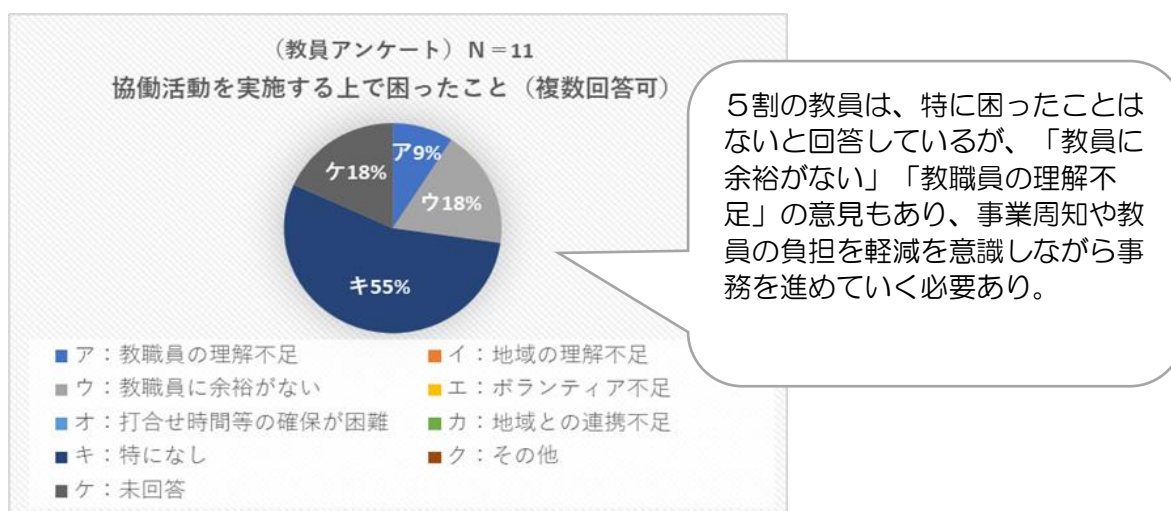
2 地域学校協働活動推進員の配置



【理由】

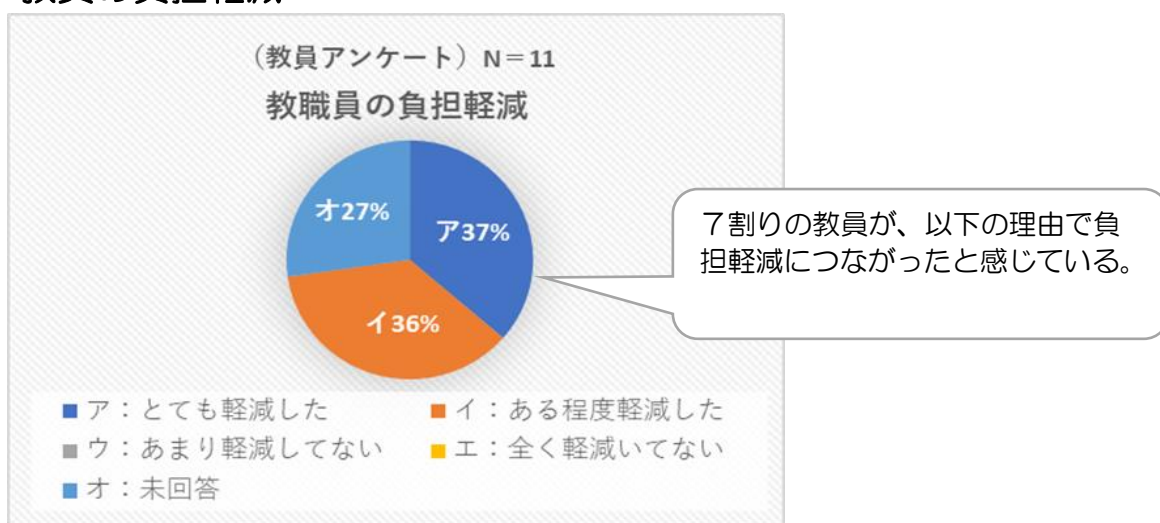
- 教師の情報網では分からない人材の紹介やその段取りをしてくれて、スムーズに地域と繋がる事ができた。
- いつも学校にいて連携がとりやすく、その人となりを知っているので、何でも相談しやすい。
- 転勤を繰り返す教員にとっては、地域の情報等を伝えてくれるので心強い。
- 外部講師への依頼、打合せがスムーズにでき助かった。

3 協働活動の課題



大名小 教員 アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

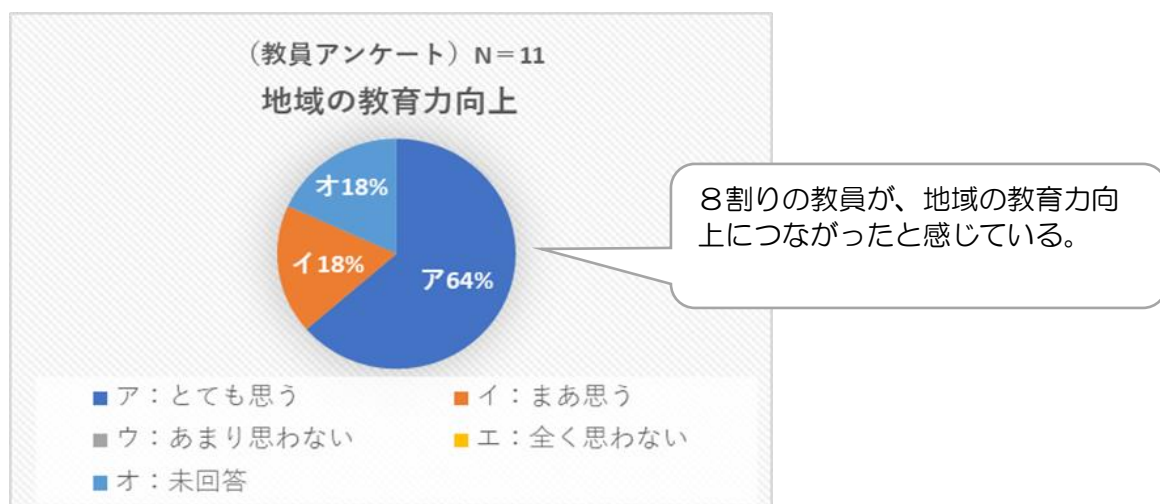
4 教員の負担軽減



【理由】

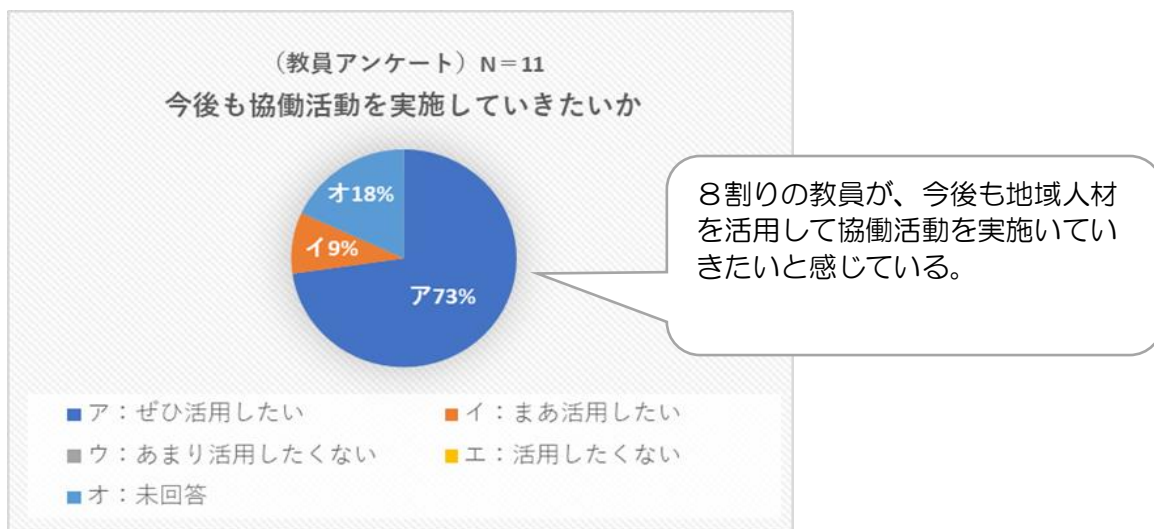
- 地域のボランティア講師がいろいろ準備をしてくれたので助かった。
- 推進員が打合せの交渉や人員の確保の交渉をしてくれて、負担軽減につながった。
- 地域人材資源を活用する時に、推進員が手配や紹介等をしてくれるので負担軽減につながった。

5 地域の教育力



大名小 教員 アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

6 協働活動の継続



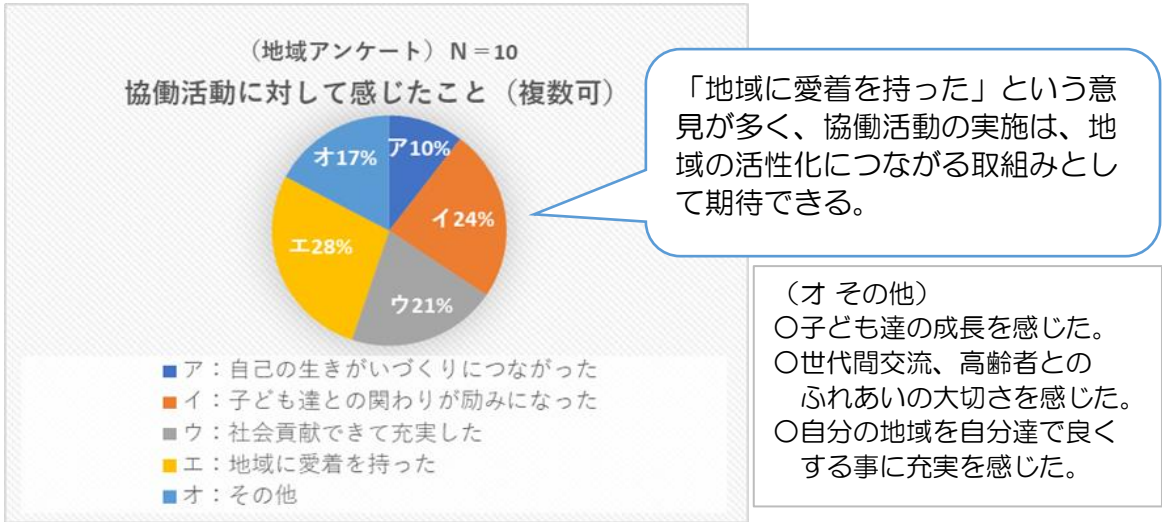
7 意見・感想など

- 素晴らしい制度なので、ぜひ市内全ての学校で協働活動を実施（推進員の配置）してほしい。
- 推進員配置の予算確保が難しければ、中校区、又は各ブロックに1人配置して、少しずつ拡大してほしい。
- 大名小学校は教職員の数が少なく、協働活動によってその不足分を補えたので助かった。
- 子どもに書かせる「振り返りアンケート」はなくしてほしい。

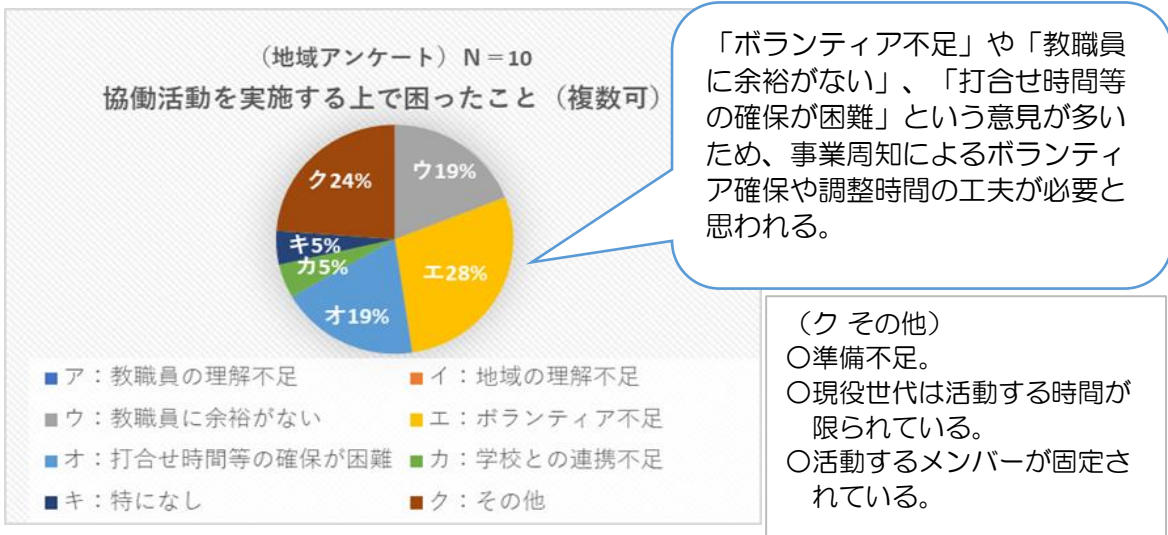
大名小 地域ボランティア アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

別紙6

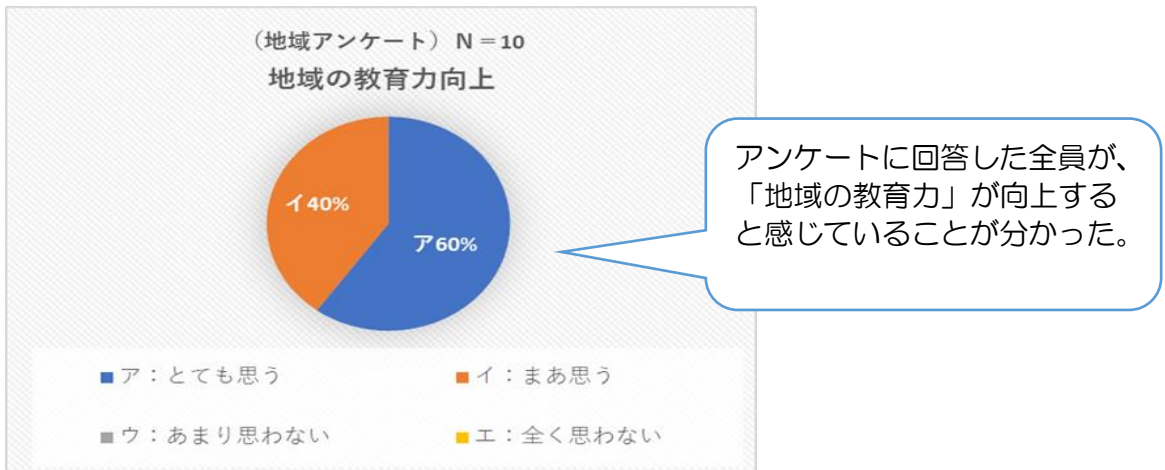
1 協働活動の効果



2 協働活動の課題

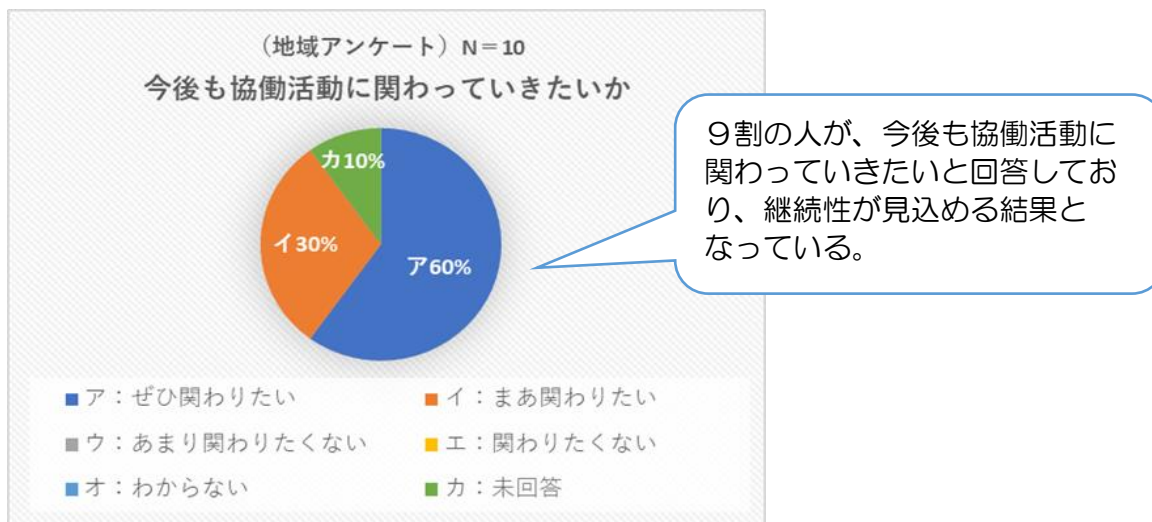


3 地域の教育力



大名小 地域ボランティア アンケート集計結果 (R.5.3月実施)

4 協働活動の継続



5 意見・感想など

- 忙しい先生方へ出来ることで応援していきたい。
- 地域から特技を持ったボランティアを募るのが難しい。学校側からの熱心な提案がないと、協力者は育たないと思う。
- 小学校に隣接する高齢者福祉施設として、コロナ禍で交流制限は続いているが、出来る形で交流を継続したい。
- 社会福祉法人の役割で地域活動に力を入れている。大名小学校との交流会を再開して、回数も増やしていきたい。
- 子ども達や教職員に福祉とは何かをお互いに学びたいと思う。
- 子ども達と関わる時間がとても有意義だった。
- 自治会の高齢化が進んでいる中、協働はとても重要になってくると思う。
- 料理クラブやいけ花クラブなど、個人が消費する材料費は、学校負担か児童が負担するのか判断が難しい面がある。